

平成28年度 豊水小学校・前期末学校評価

学校評価を、「4:よくあてはまっている 3:だいたいあてはまっている 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない 分からない時は未記入」という4段階で、全児童・全保護者・学校評議員対象にアンケート調査を実施した。また、教職員については、教育目標の重点努力事項と評価の観点について、4段階評価のアンケート調査を実施した。その上で、児童・保護者・学校評議員・教職員の評価結果を学校関係者評価委員会において報告し、評価結果に対する客観的なご意見を頂いた。

【課題と改善点】

○児童の評価から見てきたこと

児童66名の評価では、22項目全てが平均値3以上の結果となっている。早急に対応・対策を講じなければならない大きな課題はないと考えられる。しかし、その中でも低い結果となった次の4つの項目については反省し、取組を行う必要がある。

【道德の授業は心に残っていてためになると思う・・・平均3. 2】

【自分は、大切な存在だと思う・・・平均3. 3】

【授業では、よく考え発表し、学び合っている・・・平均3. 3】

【進んで読書をし、本の選び方も上手になった・・・平均3. 3】

○保護者の評価から見てきたこと

大部分の評価が3以上であるが、全ての項目で評価の結果が昨年より下がった。特に平均が3以下の3項目については、後期の取組を強化すると共に、家庭との連携も必要と考える。

【学校の教育目標や方針等はわかりやすく伝えられていると思いますか。・・・ 3. 0】

【家庭では、正しい言葉づかいができるようにしていただけますか。…………… 2. 7】

【家庭では、子どもさんのしつけはうまくいっていると思いますか。…………… 2. 7】

○学校評議員の評価から見てきたこと

「学校は【早寝・早起き・朝ごはん】の習慣化等、家庭教育の大切さを啓発している」が、やや低い結果となっている。家庭への啓発活動の必要性和捉え、学校だよりや学級通信、保健だより、ホームページ等を活用して更に啓発に努めなければならない。また、【挨拶がだんだんよくなってきている】というご意見もあった。更に上のレベルの挨拶を目指たあいさつ運動等に取り組んでいきたい。

○教職員の評価から見てきたこと

教職員の自己評価においては、平均値が3に満たない項目が多数見られた。(別紙参照)特に評価が低かった項目については、全職員で後期の課題として取り組んでいくことを確認した。

【健康診断後の事後指導により治療を完了させることができたか……………2. 2】

【授業の工夫・改善や県学力調査等の問題を活用して、思考力・判断力・表現力を培う指導はできたか……………2. 4】

【「玉名学」礼節等を充実させ、気持ちのよい挨拶や正しい言葉づかい、花の世話、無言掃除の指導はできたか。……………2. 4】

【平成28年度後期の取組について】

前期の学校評価において、課題として見てきたことの中から、次の項目を課題ととらえ、重点的な取組を行っていく。保護者との連携や地域の方の協力も願います。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 確かな学力の育成・よく考え、学び合い、活気のある授業づくり
(学習規律の定着、調べ学習等による主体的な学習)② 心に残る道德の授業づくりと自尊心の育成③ たくましい心身の育成(う歯等の早期治療)④ 読書活動の推進 |
|---|